学校番号	204

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　公共　（数研出版）						
副教材等	高等学校　公共　整理ノート（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・新聞・テレビ・インターネット・SNS などから得られる情報を、主体的、分析的に読み解けるようになりましょう。
・現実に社会で起こっている諸問題の背景を考えることによって、自分と社会との関わりを学びましょう。

2　学習の到達目標

社会的事象の現代的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を、次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

現代社会の諸課題に関わる政治、経済、法、国際関係などの基本的な仕組みや考え方について、日本と世界を相互に関連付けて理解するとともに、諸資料や情報を適切かつ効果的に収集・整理し、課題の解決に向けて活用する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

現代社会に関わる諸事象の意味や意義、特色について、対立や合意、効率と公正、自由と責任、個人と社会の関係などに着目し、概念や理論を活用して多面的・多角的に考察する力を養うとともに、社会的課題を把握し、その解決に向けて構想したことを、根拠を明確にして説明したり、他者と議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

現代社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に入れて主体的に関わろうとする態度を養うとともに、法やルールを尊重し、多様な価値観や文化を理解しようとする姿勢を身につける。

また、民主社会の一員としての自覚を深め、公共的な空間において責任ある判断と行動をとろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共的な空間をつくる私たち	大人ってどんな人？	a：青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。 b：自己形成の課題について考察できている。 c：自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。	定期考査（中間・期末） 演習ノート	定期考査（中間・期末） ワークシート 演習ノート	パフォーマンス課題 ワークシート
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	現代の諸課題と倫理	a：地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 b：公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択･判断の手掛かりが考察できている。 c：選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って、現代の諸課題を主体的に追究できている。			
	公共的な空間における基本原理	民主社会の基本原理	a：人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解できている。 b：このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的･多角的に考察することができている。 c：民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。			
		日本社会の基本原理	a：日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。 b：日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができている。 c：日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができている。			

2学期	ルールをつくり守る私たち	法と契約	a：法や規範の意義や役割が理解できている。 b：日常の買い物や銀行のクレジットカードなど、身近な契約の例を挙げることができる。 c：身近な紛争状況を設定し、それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。	定期考査（中間・期末） 演習ノート	定期考査（中間・期末） ワークシート 演習ノート	パフォーマンス課題 ワークシート
		司法参加の意義	a：公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることが理解できている。 b：裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。 c：模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。			
	政治に参加する私たち	政治参加と民主政治の課題	a：地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。 b：選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。 c：模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。			
		国際政治の動向	a：国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。 b：国連の現状と課題について考察できている。 c：日々報道される世界の国際紛争に関心が持てている。			
		国際政治の課題と日本の役割	a：国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。 b：国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明できている。 c：民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持てている。			

3学期	経済活動を行う私たち	経済のしくみと産業の変化	a: 現代の企業の果たしている役割が理解できている。 b: 現代の企業倫理について考察できている。 c: 経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられている。	定期考査（学年末） 演習ノート	定期考査（学年末） ワークシート 演習ノート	パフォーマンス課題 ワークシート
		市場経済のしくみと金融	a: 市場経済のメカニズムが理解できている。 b: 需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できている。 c: 商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し、合理的な消費行動をとる見通しが持てている。			
		財政と社会保障	a: 政府が経済に果たしている役割を理解できている。 b: 自身の老後生活を予想し、租税（支払い）と社会保障（受取り）とのバランスを考察できている。 c: 日本の経済について課題を発見し、解決する見通しが持てている。			
		国際経済の動向と課題	a: 貿易や外国為替相場について、そのしくみが理解できている。 b: 経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し、それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できている。 c: 自分たちの日常生活が国際経済と不可分であることを自覚できている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度